




神奈川県の経済情勢報告

令和4年1月25日
財務省関東財務局
横浜財務事務所

※掲載した経済指標等については速報値を含む。

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が引き続きあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している」









項目	前回（3年10月判断）	今回（4年1月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響が引き続きあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	

（注）4年1月判断は、前回3年10月判断以降、4年1月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、一部に弱さがみられるものの、持ち直している。雇用情勢は、感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。

【各項目の判断】

項目	前回（3年10月判断）	今回（4年1月判断）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	
生産活動	一部に弱さがみられるものの、持ち直している	一部に弱さがみられるものの、持ち直している	
雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	
設備投資	3年度は増加見込みとなっている（全規模・全産業）	3年度は増加見込みとなっている（全規模・全産業）	
企業収益	3年度は増益見込みとなっている（全規模・全産業）	3年度は増益見込みとなっている（全規模・全産業）	
企業の景況感	「下降」超幅が縮小（全規模・全産業）	「上昇」超に転じる（全規模・全産業）	
住宅建設	前年を下回っている	前年を上回っている	
公共事業	前年を上回っている	前年を下回っている	

【先行き】

先行きについては、感染対策のもと経済社会活動を継続していくなかで、各種政策効果等もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、感染症による影響や供給面での制約、原材料価格の動向による県内経済の下振れリスクに十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している」
百貨店販売額、スーパー販売額及びドラッグストア販売額は前年を上回っている。コンビニエンスストア販売額、家電販売額、ホームセンター販売額及び新車登録届出台数は前年を下回っている。このほか、宿泊や飲食サービスなどは緩やかに持ち直している。このように個人消費は、感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。

(主なヒアリング結果)

- 10月以降、業況は回復してきており、特にクリスマスシーズンや年末はコロナ前を超える売上を記録した。1月に入ってから引き続き良い状況となっている。(百貨店、大企業)
- 家庭内の消費(内食需要)が増えている状況が続いている。また、クリスマスケーキやおせち等は前年を上回っており、イベントへの消費意欲が見られる。(スーパー、中堅企業)
- 半導体不足や東南アジアのサプライチェーンの乱れ等により、納車までの期間を要しているものの、受注は前年と比べて増加しており、顧客の購買意欲は高い。(自動車販売、中堅企業)
- 緊急事態宣言等で営業制限があったが、11月以降は営業制限の緩和に伴い、業況は改善している。ただ、オミクロン株の影響もあってか、利用者がいても少人数が多く、売り上げの戻りは鈍い。(飲食サービス、中小企業)
- 10月以降は状況が好転し、特に年末年始は混雑した。しかし、足下の感染者増加を受けて企業・団体等の宴会はキャンセルが出始めている。(宿泊、中堅企業)

■ 生産活動 「一部に弱さがみられるものの、持ち直している」

生産を業種別にみると、輸送機械等は減少基調であるが、化学等は増加基調であり、一部に弱さがみられるものの、持ち直している。

(主なヒアリング結果)

- 部品供給の遅れなどにより、入荷待ちを抱えている中でフル操業ができない状況が10-12月期も継続している。(輸送機械、大企業)
- 特に海外(主に中国)は好況で受注が多く、生産量も前年より約3割増加し、一部工場ではフル稼働状態。(生産用機械、大企業)
- 自動車関連部品の生産は自動車メーカーの減産により減っているが、その要因となっている半導体不足を受けて、半導体製造装置関連部品の生産は大幅増。通常体制では追いつかず、ラインを拡張するなど生産体制を強化し対応している。(金属、大企業)

■ 雇用情勢 「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある」

有効求人倍率はこのところ低下しているが、新規求人数が増加基調であることや、雇用保険受給者実人員が前年を下回っていることなどから、雇用情勢は、感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。

(主なヒアリング結果)

- 緊急事態宣言解除以降、アルバイトの募集をしているが、外食各社との競争が激しく、必要人員を充足できない状況。(飲食サービス、大企業)
- 求職者の増加もあり、有効求人倍率は一服感がみられるが、求人は増加基調であり、求人市場に上向きの基調を感じている。(行政機関)

■ 設備投資 「3年度は増加見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」3年10-12月期

- 3年度の設備投資計画額をみると、全産業で前年度比17.0%の増加見込みとなっている。業種別にみると、製造業は同11.1%の増加見込み、非製造業は同32.2%の増加見込みとなっている。

■ 企業収益 「3年度は増益見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」3年10-12月期

- 3年度の経常利益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)をみると、全産業で前年度比27.4%の増益見込みとなっている。業種別にみると、製造業は同26.7%の増益見込み、非製造業は同28.7%の増益見込みとなっている。

(主なヒアリング結果)

- 受注が好調であることや、原材料価格高騰に伴う売価の引上げ、円安による効果などにより、年度当初の収益予想を上方修正した。(製造業、大企業)
- 受注・生産が好調のため前年度比で増収増益だが、原材料価格の上昇分を全て価格転嫁するわけにもいかず、コストアップの課題が残るため、今後、どの程度利幅を確保できるかがポイント。(製造業、大企業)

■ 企業の景況感 「『上昇』超に転じる」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」3年10-12月期

- 企業の景況判断BSIをみると、全産業で「上昇」超に転じている。規模別にみると、大企業、中堅企業は「上昇」超幅が拡大し、中小企業は「上昇」超に転じている。

■ 住宅建設 「前年を上回っている」

- 新設住宅着工戸数をみると、貸家は前年を下回っているものの、持家、分譲住宅は前年を上回っていることから、全体で前年を上回っている。

■ 公共事業 「前年を下回っている」

- 公共工事前払保証請負金額をみると、前年を下回っている。

神奈川県の経済情勢報告

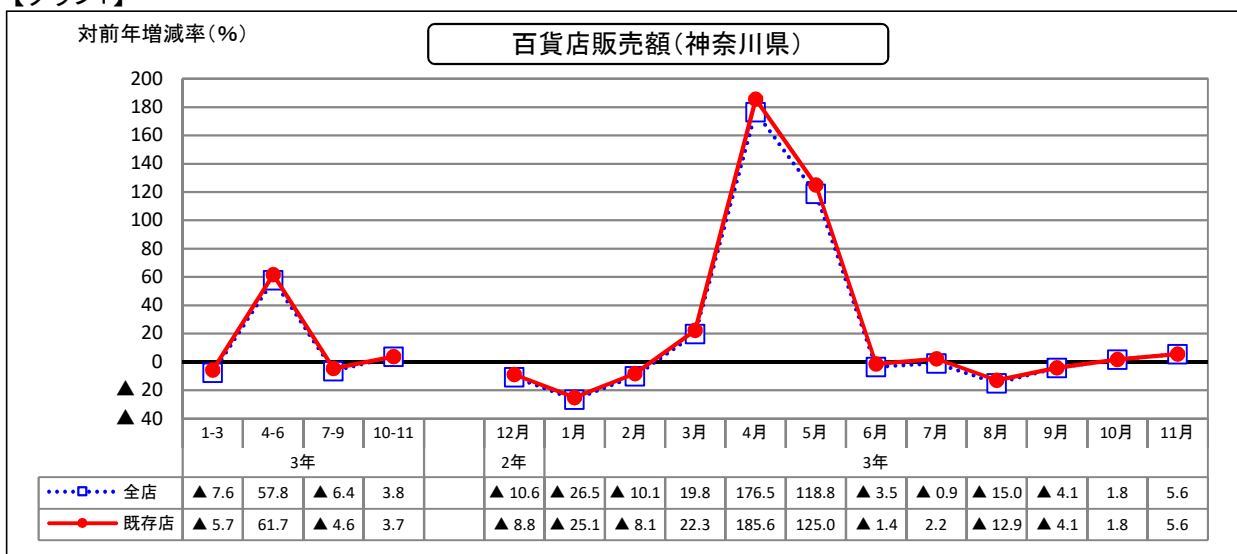
資料編

※掲載した経済指標等については速報値を含む。

1. 個人消費

新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している

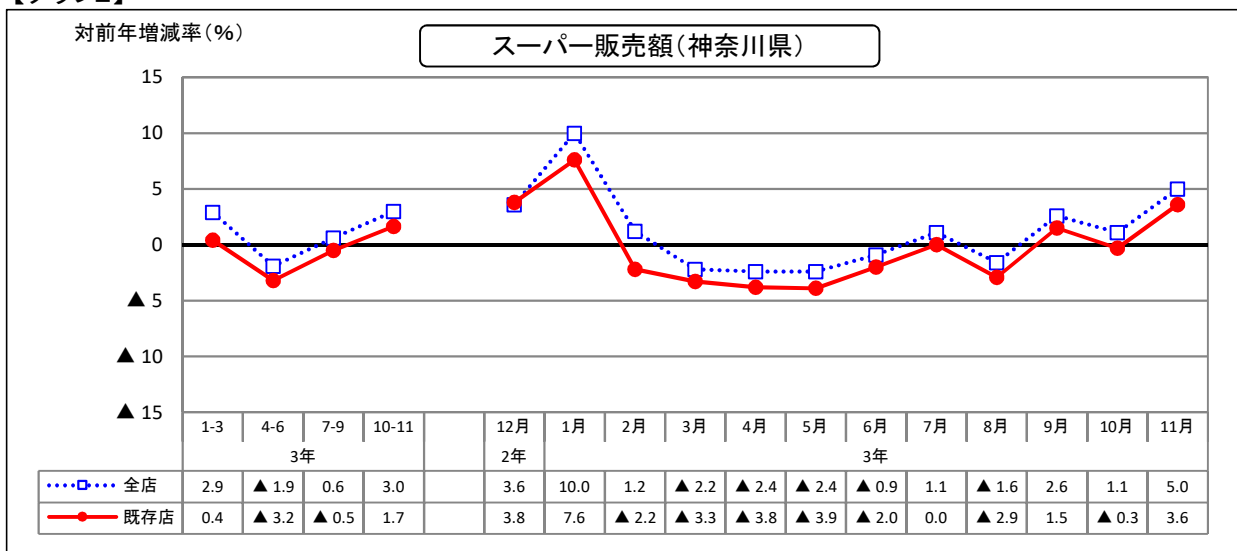
【グラフ1】



(注) 令和3年10-11月期は当局試算である。

【経済産業省】

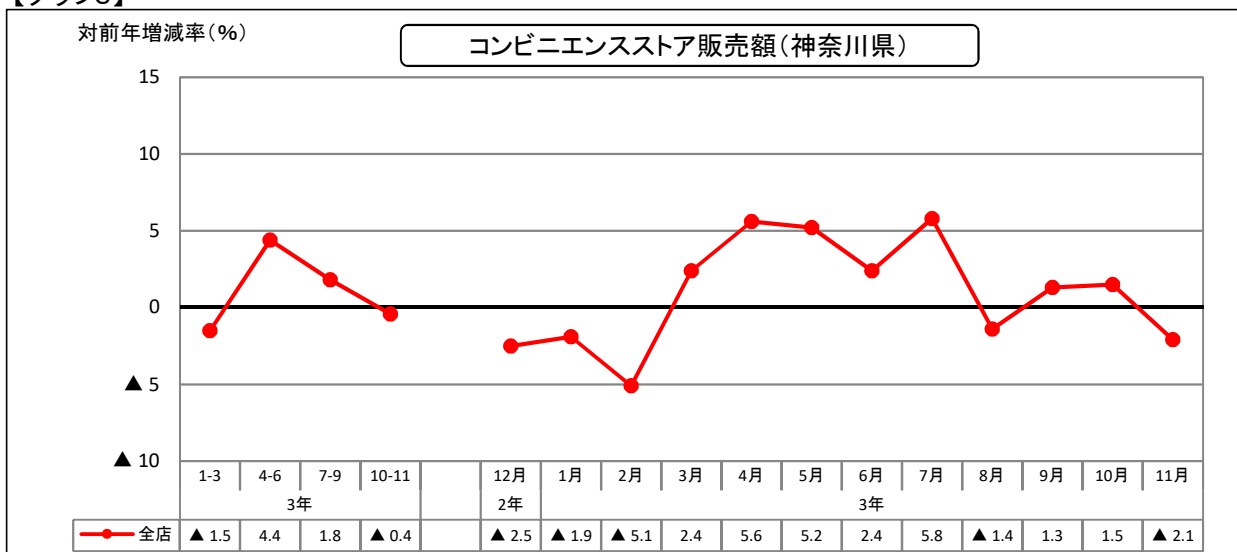
【グラフ2】



(注) 令和3年10-11月期は当局試算である。

【経済産業省】

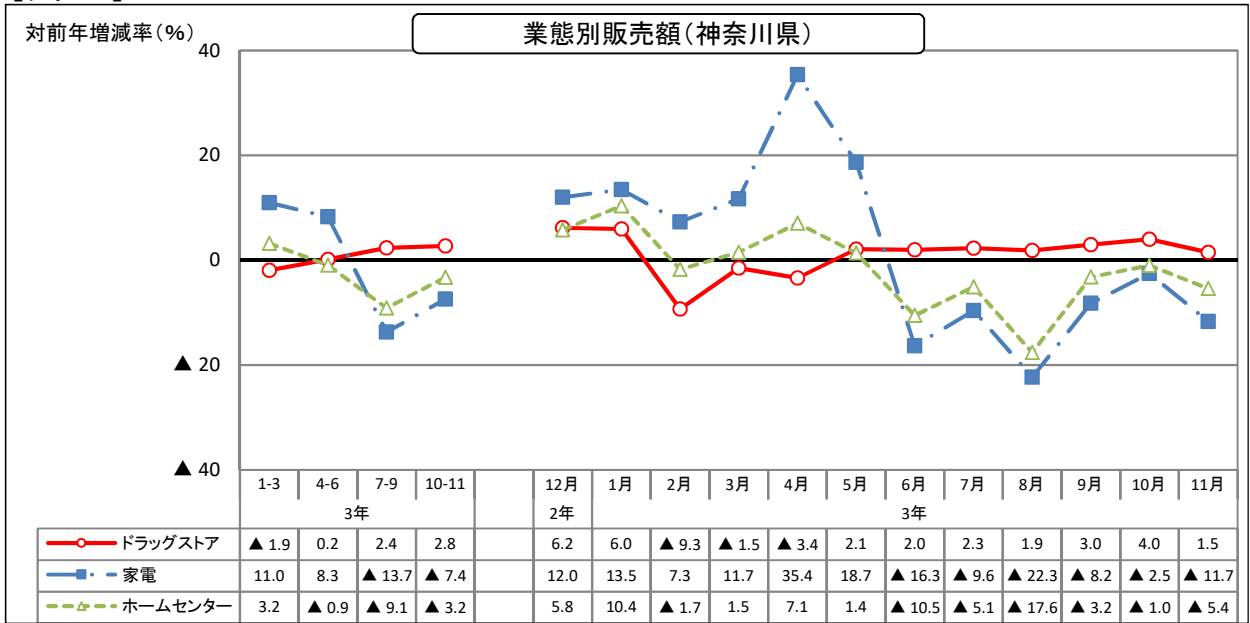
【グラフ3】



(注) 令和3年10-11月期は当局試算である。

【経済産業省】

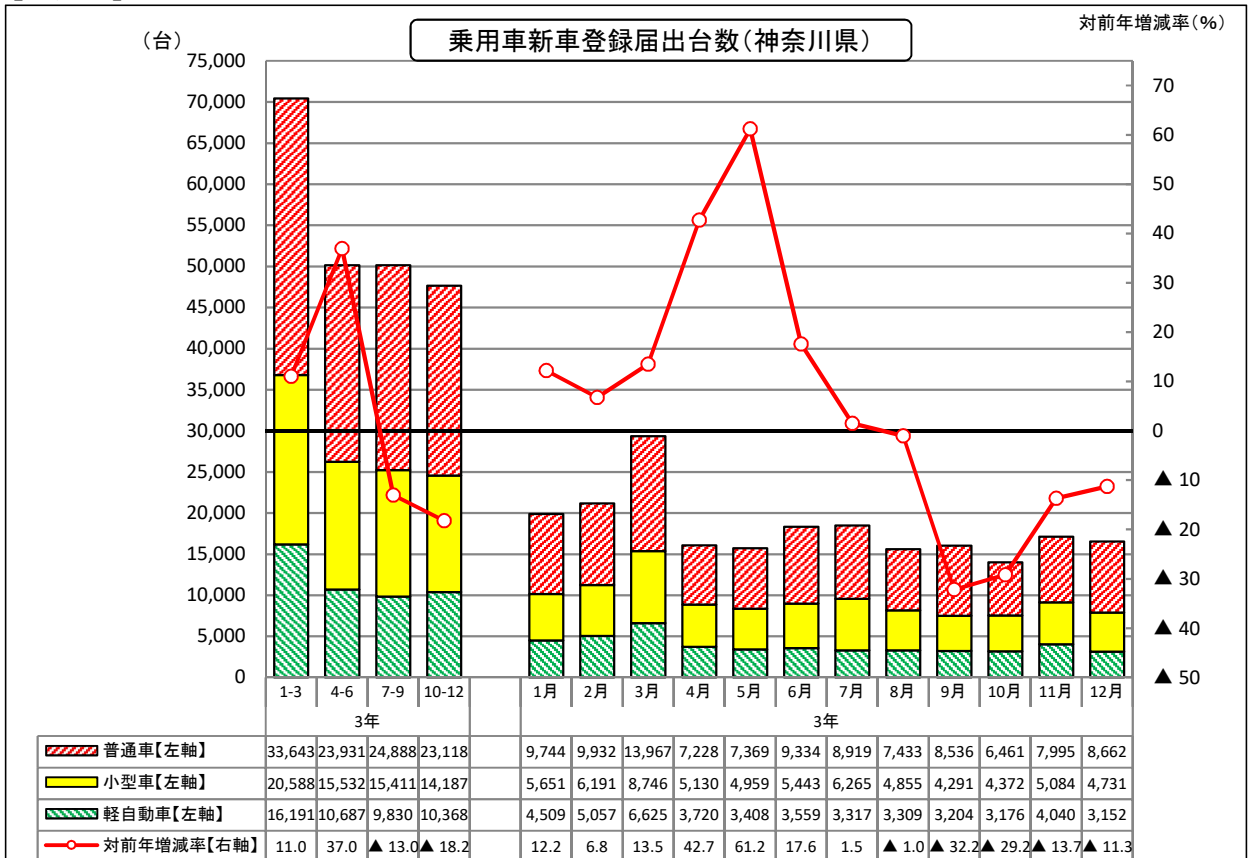
【グラフ4】



(注)全店ベース。令和3年10-11月期は当局試算である。

【経済産業省】

【グラフ5】

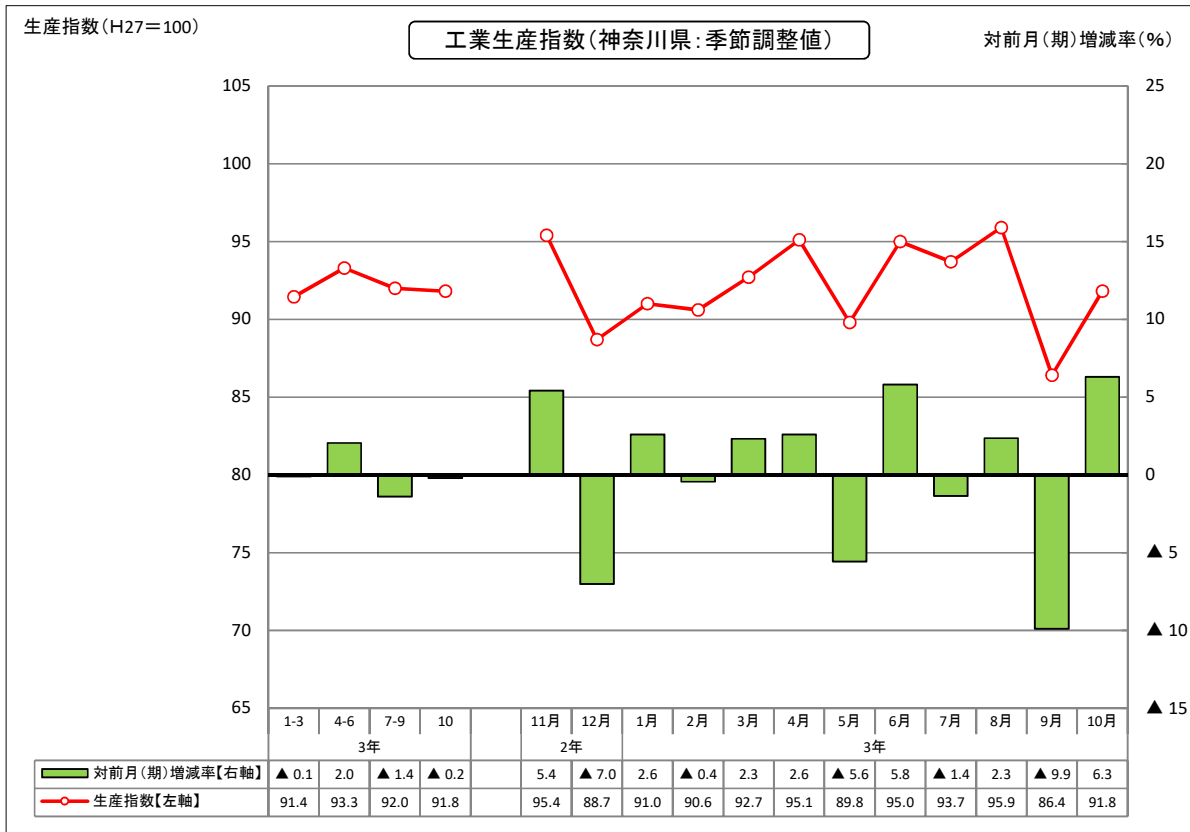


【日本自動車販売協会連合会・全国軽自動車協会連合会】

2. 生産活動

一部に弱さがみられるものの、持ち直している

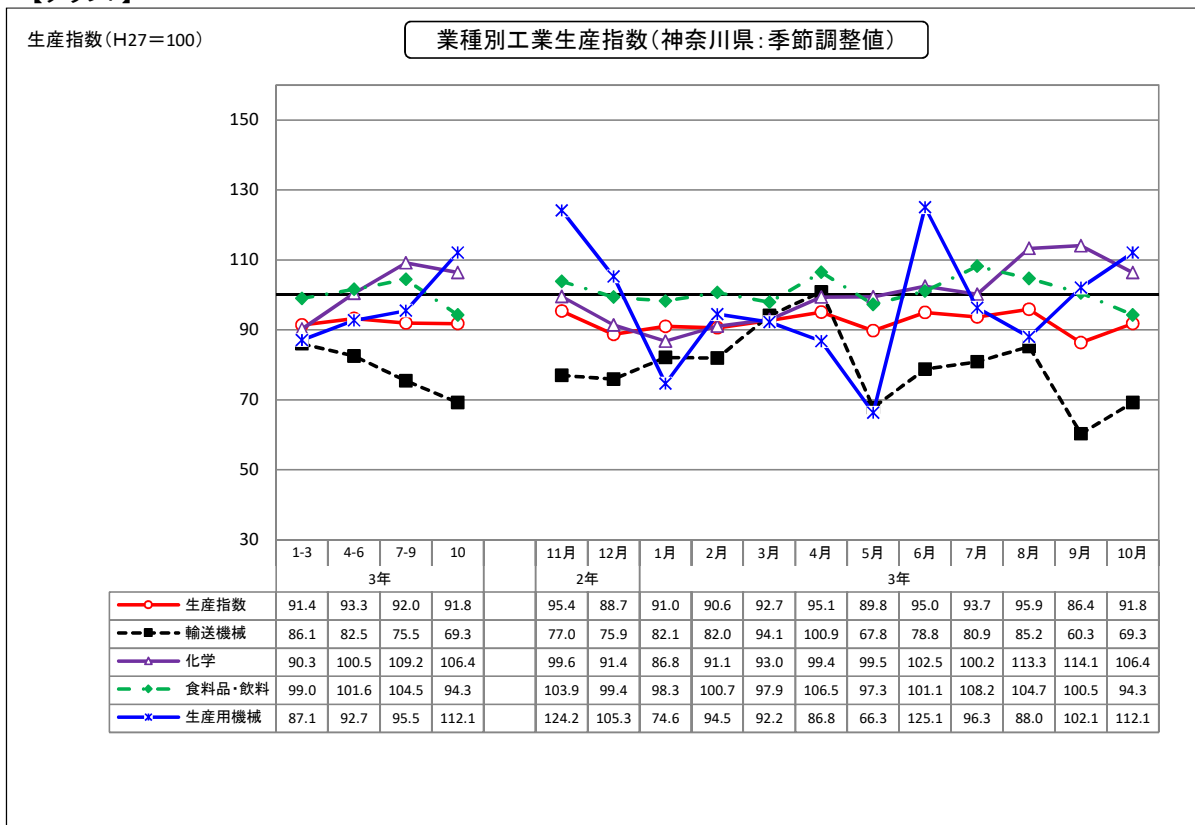
【グラフ6】



(注)四半期は当局試算である。

【神奈川県】

【グラフ7】



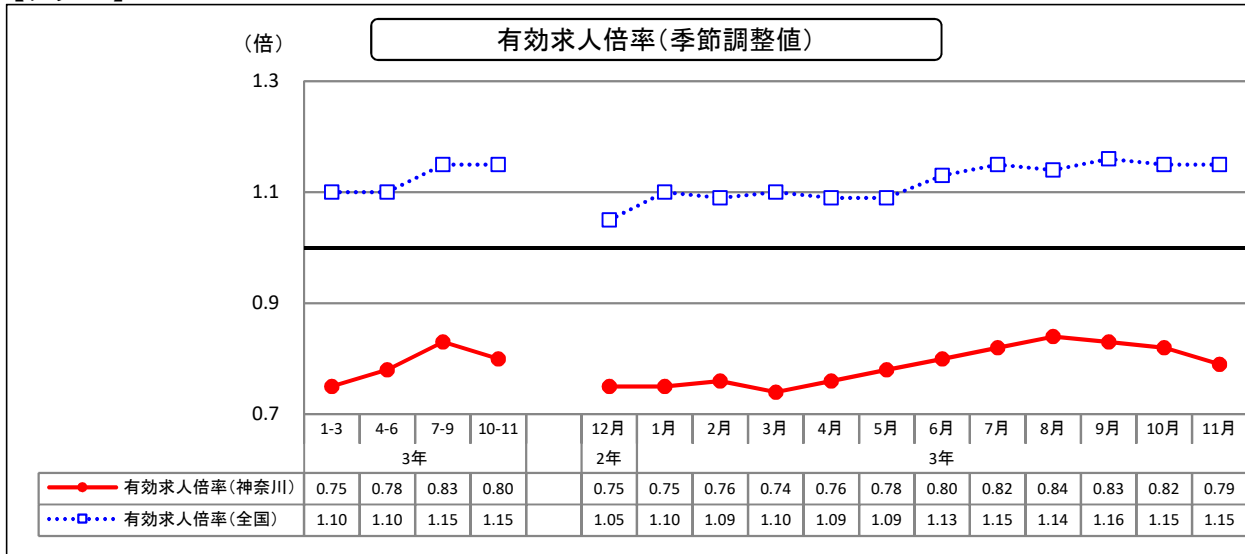
(注)四半期は当局試算である。

【神奈川県】

3. 雇用情勢

新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある

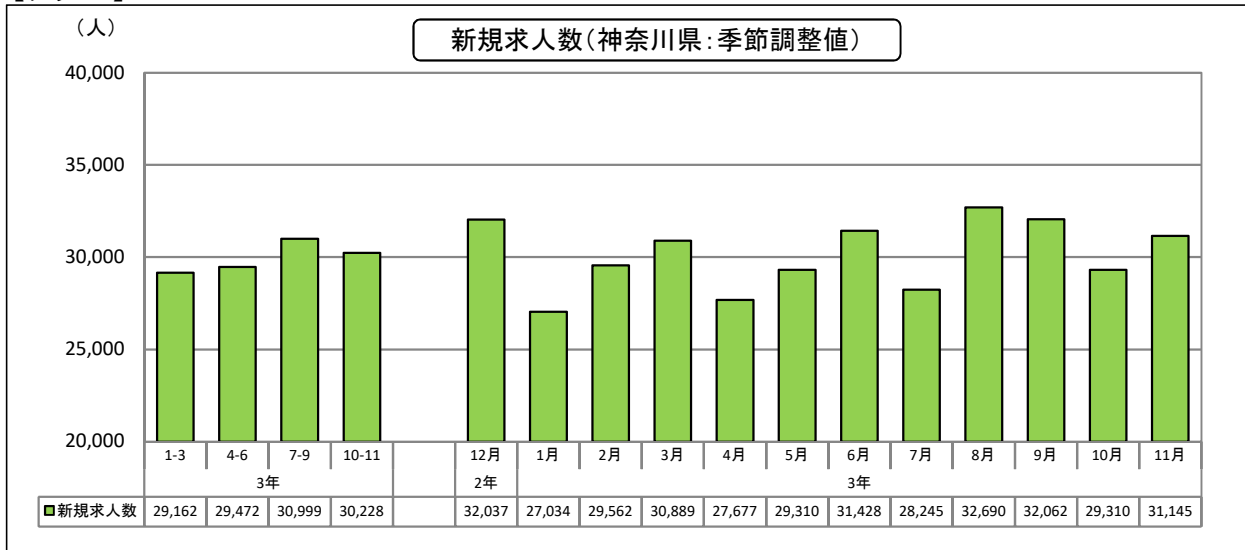
【グラフ8】



(注)1. パートを含む。2. 令和3年10-11月期は当局試算である。

【厚生労働省】

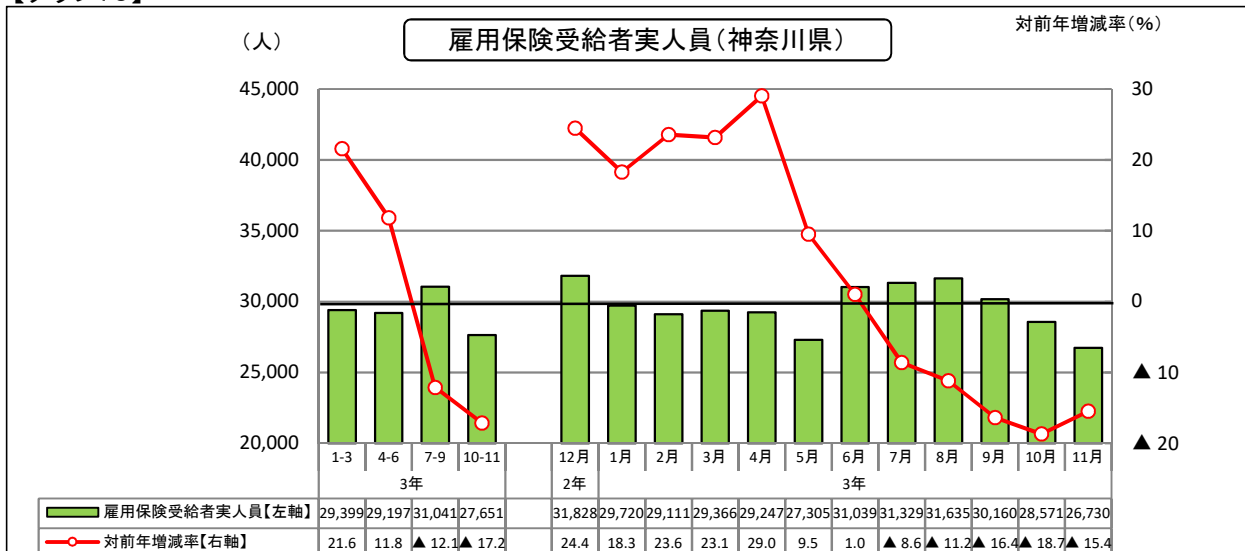
【グラフ9】



(注)1. パートを含む。2. 令和3年10-11月期は当局試算である。

【厚生労働省】

【グラフ10】



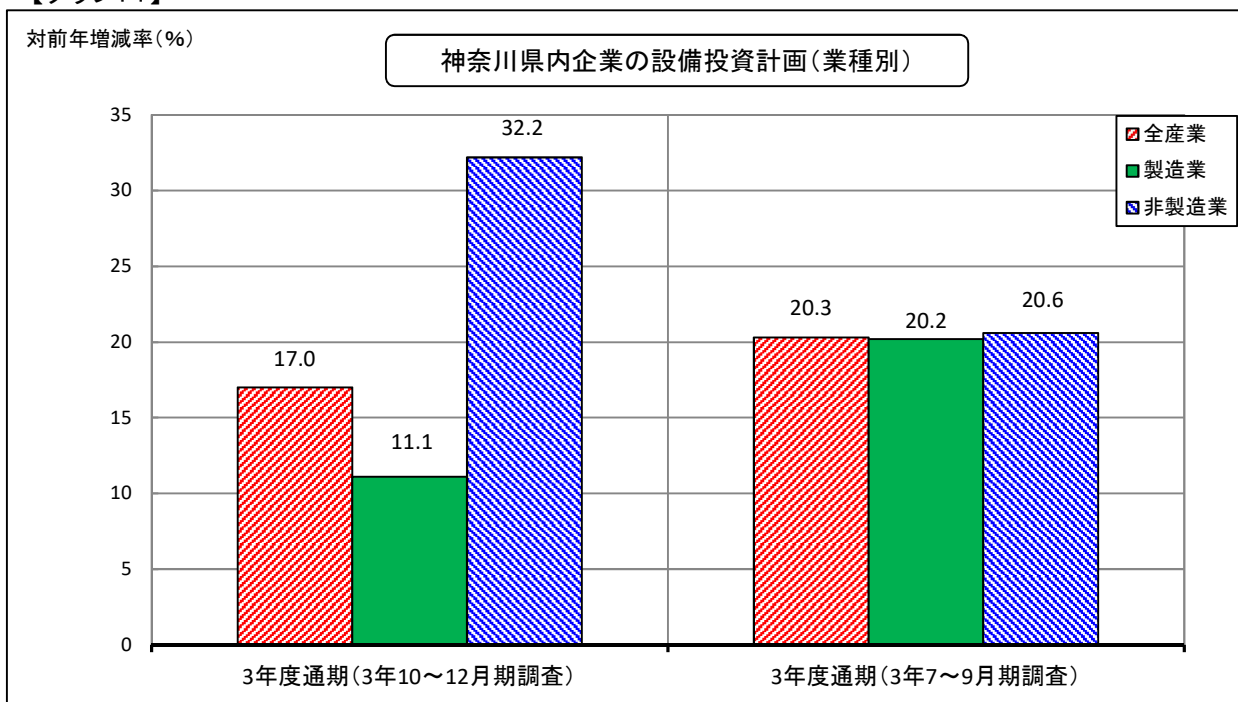
(注)四半期は当局試算である。

【神奈川県労働局】

4. 設備投資

3年度は増加見込みとなっている(全規模・全産業)

【グラフ11】

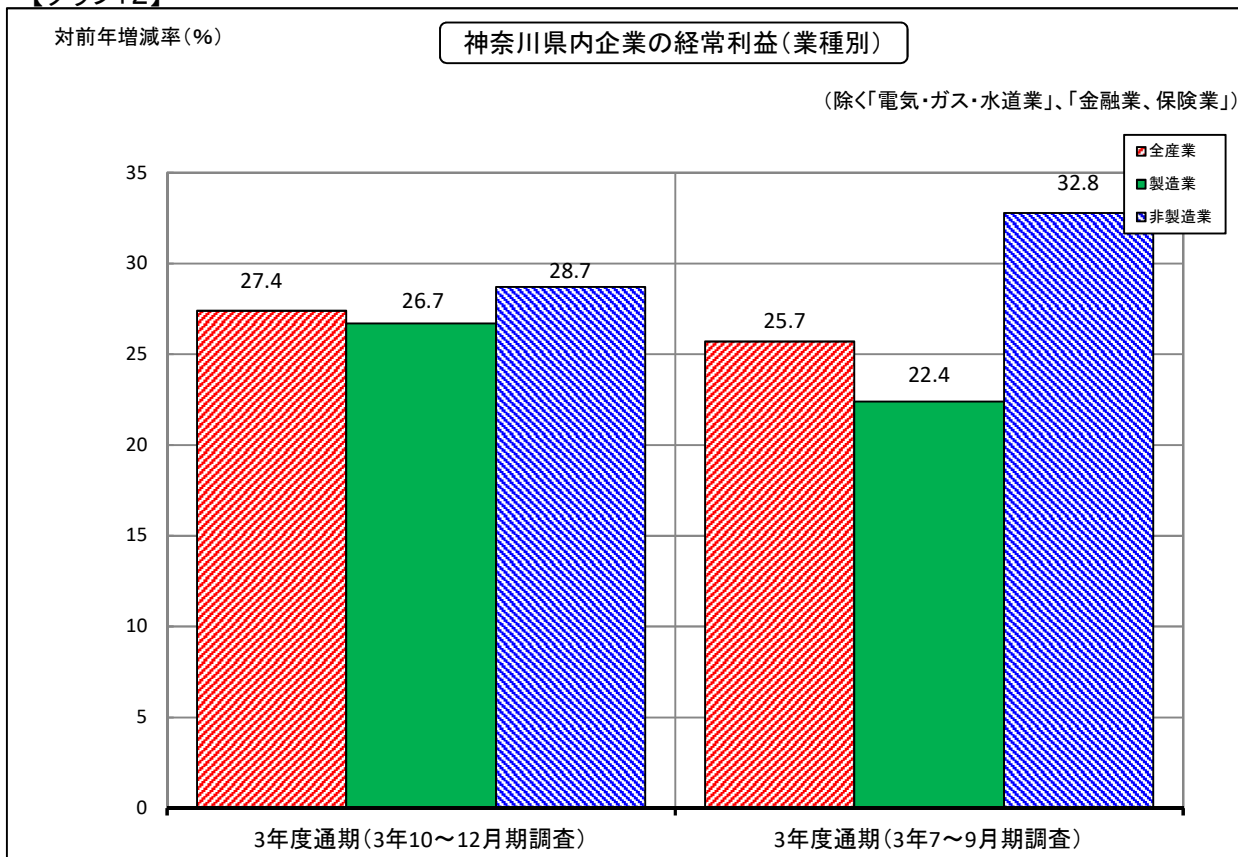


【横浜財務事務所(法人企業景気予測調査)】

5. 企業収益

3年度は増益見込みとなっている(全規模・全産業)

【グラフ12】

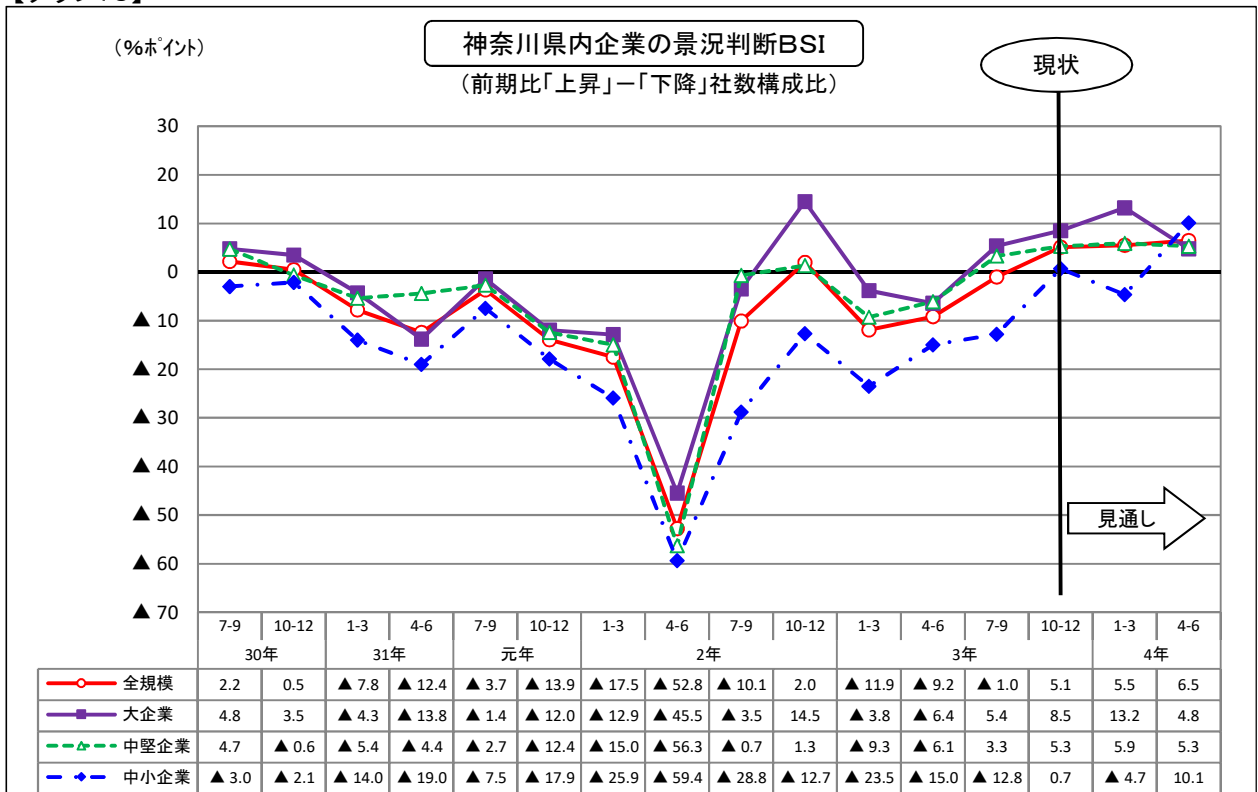


【横浜財務事務所(法人企業景気予測調査)】

6. 企業の景況感

「上昇」超に転じる(全規模・全産業)

【グラフ13】

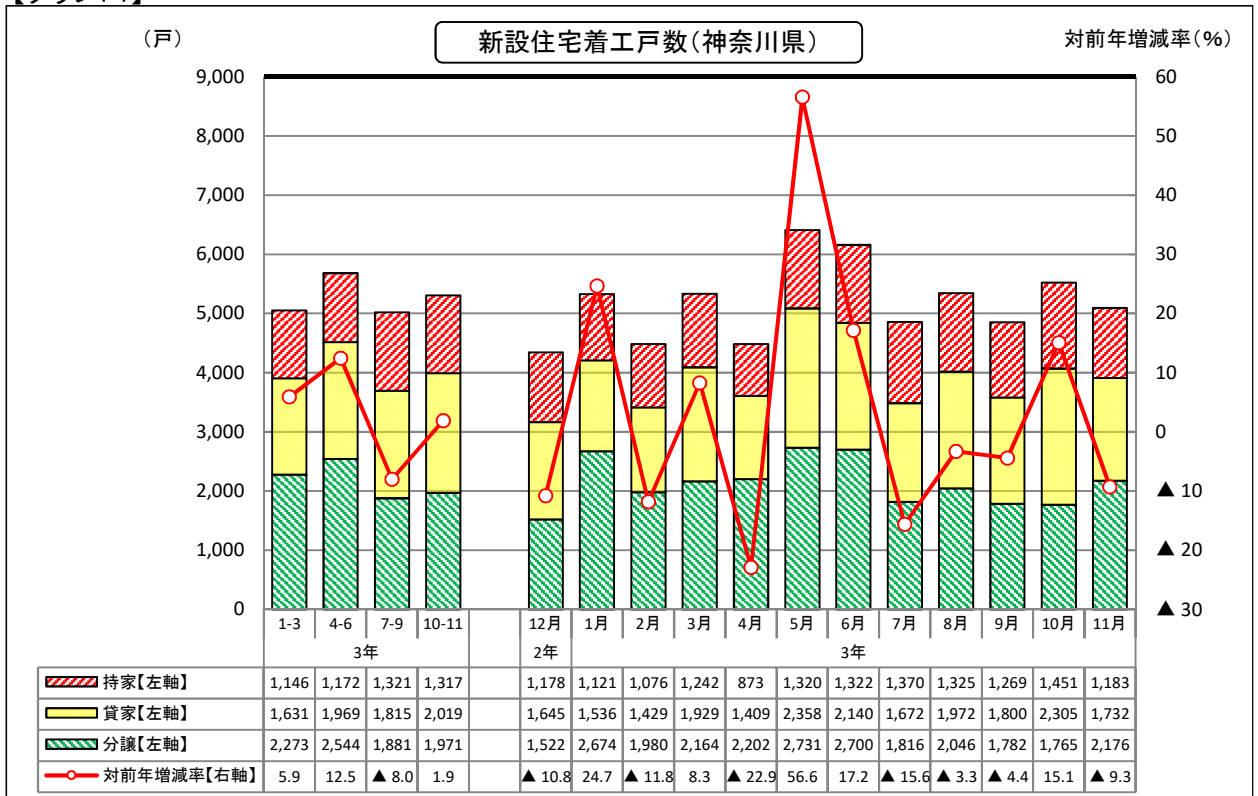


【横浜財務事務所(法人企業景況予測調査)】

7. 住宅建設

前年を上回っている

【グラフ14】



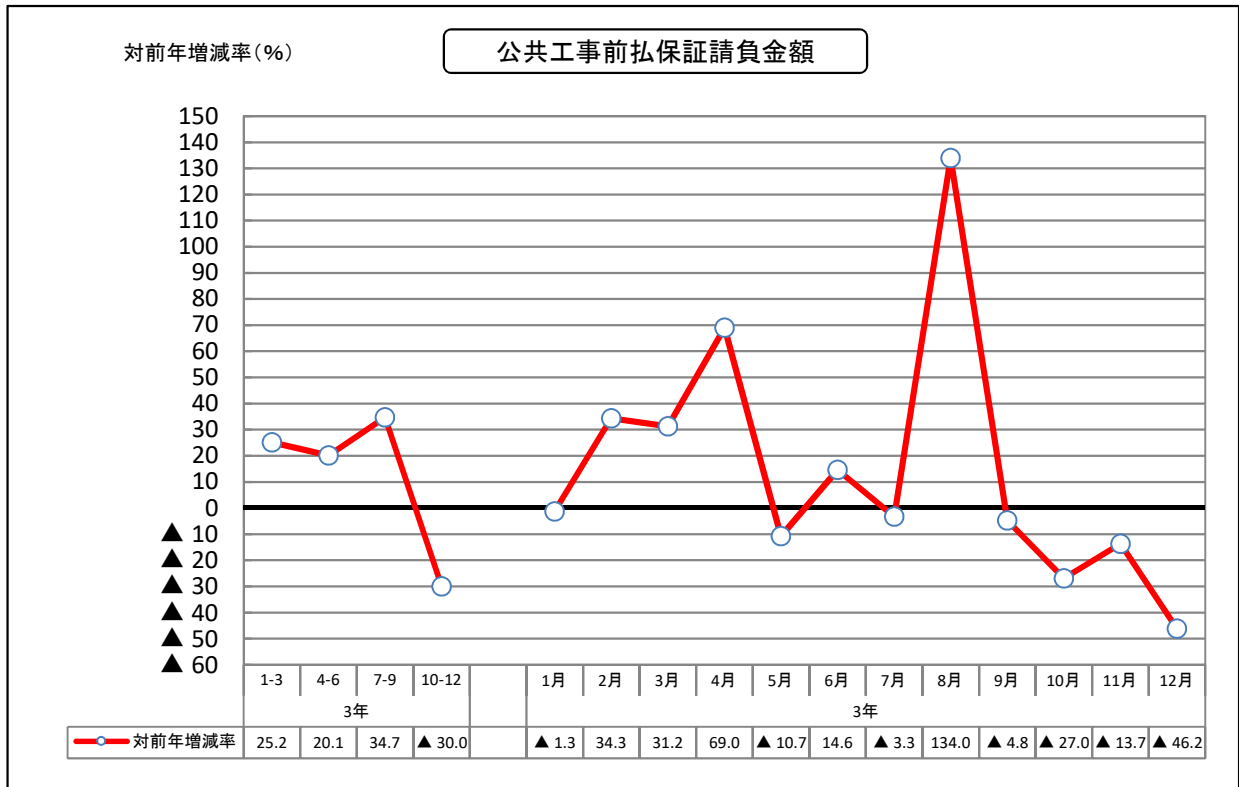
(注)1.対前年増減率には給与住宅を含む。2.四半期は当局試算である。

【国土交通省】

8. 公共事業

前年を下回っている

【グラフ15】



(注)四半期は当局試算である。

【東日本建設業保証(株)他】